



おはようクローズアップ対談

鎌田 實と語る 介護の“魅力”

コロナ禍は大きな影響を介護の現場にもたらしました。しかし、そのなかでも、利用者の生活を支えるための取り組みが行われています。各地の施設と鎌田先生をつないで、現場のこだわりや生の声を聞いていきます。

社会福祉法人みその福祉会
ケアタウン成増

利用者と地域に寄り添う 「チームケアタウン成増」

坂本 寛さん 理事長(施設長兼任)

小久保 玲香さん 特養施設ケアマネジャー(生活課課長)

久保 美菜子さん 特養介護スタッフ(生活課介護主任)

荻原 明美さん デイサービス介護スタッフ(デイサービス課長補佐)

豊嶋 ひとみさん 看護師(地域包括支援センター長)

互いに助け合うチーム

鎌田 まずは自己紹介をお願いします。
坂本 施設長と理事長を兼任している坂本です。施設の開設から20年以上が経ち、さまざまな成果が出ていますが、現状に甘んじることなく、常に新しいものを取り入れながら成長していきたいと思っています。

鎌田 いい姿勢だね。さまざまな取り組みについて話を聞けたらと思います。
小久保 特養の生活課課長の小久保です。施設開設時から働いています。当時は介護職として入職しましたが、今はケアマネジャーも兼任しています。家庭では、2人の子育てをしています。

鎌田 子育てしながらでも仕事ができる環境なのかな？

小久保 はい。入職後に結婚して子どもを産みましたが、それぞれ産休・育休をいただきました。当時から産休・育休がとりやすい環境だったと思います。現在も急な子どもの発熱などで、遅刻や早退をしなければならぬときは、「家族や子どものことを優先してね」と、職場全体でフォローしてくるので働きやすいです。

久保 特養の生活課介護主任の久保です。新卒で入職してから15年が経ちました。気分がムラがなく人と接することができるので、いつも元気に利用者さんと話せることが長所です。

左から豊嶋さん、久保さん、坂本さん、荻原さん、小久保さん



ウチのこだわり
チームケアタウン成増



「チームケアタウンMVP」「接遇マイスター」などを職員投票にて決定し、表彰しています。MVP投票では、「今年一番感謝の気持ちを伝えたい職員」「頑張っている姿を応援したい職員」を所属する部署内外から1名ずつ推薦します。

鎌田 それは、「感情労働」といわれる介護の仕事にとって大切な資質だね。

荻原 デイサービスで課長補佐をしている荻原です。施設の開設から半年後くらいに入職したのですが、「外に出てみたい」という気持ちから一度ケアタウン成増を退職しています。外に出たことでこのよさがわかり、今年5月に戻ってきました。

鎌田 そうなんだ。外から見えてわかったケアタウン成増のよさって何かな？

荻原 「チームケアタウン成増」をテーマに掲げているとおり、職員が互いに親身になって相談・協力し合えるチームであるところです。困りごとがあれば、同じ部署だけでなく、違う部署の人も助けてくれたり、一緒に解決方法を考えてくれるので働きやすいです。

豊嶋 成増地域包括支援センターの豊嶋です。以前は病院で看護師として働いていましたが、ケアマネジャーの資

格をとり、転職してきました。
鎌田 どうして転職したの？
豊嶋 病院でケアマネジャーが利用者さんの生活をプランニングする姿を目にして、私も医療面だけではなく、生活面でも支援したいと思うようになったんです。

鎌田 医療中心の現場と、福祉や介護中心の現場ではどんな違いがある？

豊嶋 自宅や地域での生活にかかわって支援できるかどうか、という違いがあると思います。人が病院にいる時間というのは、生活全体で考えるとわずかでですが、身体の状態などを保つためには、多くの時間を過ごす自宅や地域の環境調整が大切です。それを支援できるのが介護だと思います。

鎌田 なるほど、そこに魅力を感じたんだね。

ICT導入の効果

鎌田 ICT活用を謳っているけれど、どんなふう実践しているのかな。

坂本 インカムや見守りセンサーを活

大会や写真・塗り絵のコンクールを開催したりと、楽しそうな職場だね。

久保 こうしたイベントを通じて、部署を超えた職員同士のつながりが強くなっていますね。

鎌田 久保さんも卓球大会に出たの？
久保 はい。コロナ前は年2回開催していて、とても盛り上がりました。

鎌田 介護は心が疲れてしまう人も多いから、こうしたイベントがあるといいから、こうしたイベントがあるといいから、フレッシュできるかもしれないね。

坂本 卓球大会は部署ごとにチームを組んで対戦するので、職員同士の距離が縮まったり、チーム意識が高まることで、リフレッシュ効果や安心感を生んでいると思います。

鎌田 「チームケアタウンMVP大賞」というのがあるそうだけど、これは頑張っている職員を表彰するものなの？
荻原 はい。頑張っている姿を見せてくれたり、感謝を伝えたい職員をみんなで見えようという事で、施設全体で投票して決めています。

小久保 ほかに、接遇の模範となる人に贈られる「接遇マイスター」という賞もあるのですが、これはハードルが高く、簡単にはとれない賞なんです。私を含め、みんな一

用して、職員が少ない夜間帯でも職員・利用者双方が安心して過ごせる空間づくりを進めています。ICTを導入しても人の手が必要になる場面は多くありますが、負担は軽減されています。

鎌田 歩行分析A Iアプリを使っているということだけど、これはどんなものなのかな？

荻原 利用者さんの歩行時のふらつきや転倒のリスクを分析するアプリです。体力測定の一環として、デイサービスで取り入れています。

鎌田 どのように役立っているの？

荻原 利用者さんの歩く意欲の向上に役立っていると思います。歩く様子を動画で撮ると、その人の身体のバランスなどから歩行状態を点数化してくれるので、点数アップをモチベーションにしてリハビリに励んでくれます。

利用者と地域住民に
安心な暮らしと生きがいを提供

豊嶋 実際に要支援の方から、「アプリの分析結果を使って自宅でも運動がしたい」という申し出がありました。

ウチのこだわり
歯科医師との連携



毎月、東京医科歯科大学の歯科医師に訪問診療を依頼し、摂食・嚥下の内視鏡検査を実施しています。摂食や嚥下の診察を受けたり、食形態や食事姿勢、リハビリなどの指導を受け、ケアの向上に努めています。

度はもらいたいと思って、ひそかに狙っています。

鎌田 職員のやる気アップを狙った理事長の作戦が見事に成功しているね。

一人ひとりの希望を叶える

鎌田 食を通じた地域公益事業に取り組んでいるそうだね。

坂本 はい。子ども食堂の開催や児童施設へのお弁当の配布のほか、板橋区内でネットワークをつくって「フードドライブ」「フードパントリー」にも取り組んでいます。

鎌田 地域の就労継続支援施設でつくっているスイーツも毎週購入しているんだってね。

坂本 かなりクオリティが高いんです。デイサービスの利用者さんのおやつ

ウチのこだわり
地域とのつながり



地域の生活支援コーディネーターを担い、地域の皆さまとさまざまな取り組みを実施しています。「地域マップづくり」「スマホ相談会」「ほっこりなりりん（居場所づくり）」「元気になるフェスタ」など地域の皆さまとともに活動中です。

職員のやる気アップ作戦
鎌田 「ここに来れば、笑顔に成増（なります）！」という洒落のきいたキャッチフレーズがあったり、職員たちで卓球

このアプリは測定結果をもとに、どのような運動をすればよいかも提案してくれますので、その方はそれをふまえて自宅でも運動されています。

鎌田 アプリを導入するときに現場から「嫌だな」という反応はなかった？

坂本 トップダウンで指示してしまうと、職員に「やらされている感」が生まれてモチベーションが高まりません。アプリもそうですが、私がきっかけをつくったとしても、導入するかどうかの決定は現場に任せています。

鎌田 職員の間で、「このアプリをケアに役立てよう」という意見の一致がなされたから導入したんだね。



皆さまと一緒に 「介護の快護化」®を 目指します

※「介護の快護化」®登録商標6600998号

アテントは、介護する側・される側どちらにとっても、
「安心」で「快適」に「自己実現」できる
排泄ケアをサポートします！



排泄ケアのご相談、
資料・サンプルの
ご依頼など、お気軽に
お問合せ下さい。

WEBでのお問い合わせは
こちらの2次元コードから▶▶



大王製紙株式会社 電話でのお問い合わせはエリエールお客様相談室 ☎0120-205205 受付時間:土・日・祝日・年末年始を除く9:30~16:30

アテントは、がんばらない介護を応援しています。

がんばらない介護生活を考える会
一人ひとりの状況や環境に合わせて、社会的サービス
や介護用品・福祉用具を上手に利用して、介護する側・
受ける側にもやさしいケアを推進する会です。



適切な商品選びと使い方で
あなたもがんばらない
介護生活を

鎌田 實
諏訪中央病院名誉院長



夢と絆を感じる、
最先端で温かな介護施設だね

メニューに取り入れています。
鎌田 利用者の食にもこだわっている
んだね。ほかにもこだわりはある？
久保 出前や外食を取り入れています。
コロナで一時中断していたのですが、
つい先日再開しました。外食は、誕生
日の方を中心にご案内しています。
鎌田 利用者は喜んでくれる？
久保 本当に喜んでくれます。施設で
はあまり食べない方でも、外で自分の
食べたいものを注文するとよく食べて
くれますし、ビールなどを頼む方もい

ますね。和食レストランが人気です。
コロナ禍以前は回転寿司やホテルのバ
イキングにも行っていました。
鎌田 できるだけ本人の希望を叶えよ
うということだね。それと、日用品や
食品の移動販売も来るんだって？
小久保 週1回来るので、それを楽し
みにしている入所の利用者さんも多い
ですし、移動販売の日に合わせてデイ
サービスを利用する方もいらっしやい
ます。サービスを利用していない地域
の高齢者にもご利用いただいています。
鎌田 すばらしいね。あと、東京医科
歯科大学の歯科医チームが口腔ケアや
内視鏡検査をしてくれるそうだけど、
施設まで出張してくれるのかな？
坂本 そうですね。10年以上前から出
張していただいています。内視鏡を入
れたまま利用者さんに食べてもらって、
誤嚥がないかなどを診てもらっていま
す。そのおかげもあって、誤嚥性肺炎
になつた方はほとんどいません。

小久保 食事の形態はもちろんです、
小久保 食事は摂取するときの姿勢などのアド
バイスもいただいています。
鎌田 ほかにご利用者のためにしている
ことはどんなことがありますか？
小久保 新聞をじっくり読みたい利用
者さんがいれば、個人で新聞を購読し
てもらったり、毎朝生卵を決まった食
べ方で食べたいという方には、個別に
お出ししたりと、なるべく個人の希望
を叶えられるように心がけています。
施設に入ると、禁止事項が多くなり
ちですが、ここではそうではなくて、
極力これまでと同じ暮らしを継続して
いただきたいと思っています。
鎌田 そうしたちよっとしたこだわり
を認めてくれるのは、本当にうれしい
ことだね。僕が入所するのなら、こ
んな施設がいいなあ。

ウチのこだわり 地域資源の活用



毎週水曜日に移動販売をお願いしています。
利用者をはじめ、近隣住民の方にもご利用い
ただき大変喜ばれています。職員も夕飯の食
材を購入するなど、利便性もよく、日常的に
活用しています。



社会福祉法人みその福祉会

ケアタウン成増

開設：2001年4月

所在地：東京都板橋区成増4-14-18

施設概要：特別養護老人ホーム80名/ショート
ステイ4名/デイサービス50名/訪問介護/居
宅介護支援/成増地域包括支援センター